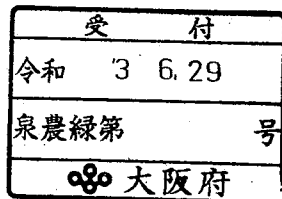


（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和3年 6月 29日

大阪府知事 殿



提出者

住 所 岸和田市臨海町20-1

氏 名 株式会社 センシュー  
代表取締役 大嶋 實

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-438-0231

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 センシュー
事業場の所在地	岸和田市臨海町20-1
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	輸送用機械器具部品製造		
②事業の規模	売上高62億		
③従業員数	190人		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	スクラップ溶解—造型—鑄造—型バラシーショット		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図)		社長 製造部長 製造部・加工部・保全・安全環境課の各部署長	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度(令和2年度)実績】			
産業廃棄物の種類		鉱さい	
排出量	7059 t		
①現状 (これまで)に実施した取組 砂をラインに戻して発生量を減らした			
【目標】			
産業廃棄物の種類		鉱さい	
排出量	7000 t		
②計画 (今後実施する予定の取組) 製造工程の現状分析、評価を行い、減量化の可能性を検討し、 廃棄物の減出化を進めるとリサイクルの検討			
産業廃棄物の分別に関する事項			
(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)			
①現状		並給(材料用)	
②計画		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ラインに戻して廃棄量の削減	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状		②計画	
排出量	7059 t	排出量	7000 t
①現状 (これまで)に実施した取組 砂をラインに戻して発生量を減らした		②計画 (今後実施する予定の取組) 製造工程の現状分析、評価を行い、減量化の可能性を検討し、 廃棄物の減出化を進めるとリサイクルの検討	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	
【前年度（令和2年度）実績】		【前年度（令和2年度）実績】		【前年度（令和2年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類	鉱さい			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	0 t	t	t	t
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	鉱さい			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	0 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	
【前年度（令和2年度）実績】		【前年度（令和2年度）実績】		【前年度（令和2年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類	鉱さい			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	0 t	t	t	t
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	鉱さい			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	0 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項  
 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項  
 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項

【前年度（令和2年度）実績】		①現状		②計画	
産業廃棄物の種類	数量	産業廃棄物の種類	数量	産業廃棄物の種類	数量
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行った産業廃棄物の量	0 t	自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行った産業廃棄物の量	0 t	自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行った産業廃棄物の量	0 t
①現状					

【目標】		②計画		②計画	
産業廃棄物の種類	数量	産業廃棄物の種類	数量	産業廃棄物の種類	数量
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行った産業廃棄物の量	0 t	自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行った産業廃棄物の量	0 t	自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行った産業廃棄物の量	0 t
②計画					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項  
 産業廃棄物の処理の委託に関する事項  
 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和2年度）実績】		①現状		①現状	
産業廃棄物の種類	数量	産業廃棄物の種類	数量	産業廃棄物の種類	数量
全処理委託量	7059 t	全処理委託量	7059 t	全処理委託量	7059 t
優良認定処理業者への処理委託量	3764 t	優良認定処理業者への処理委託量	3764 t	優良認定処理業者への処理委託量	3764 t
再生利用業者への処理委託量	3295 t	再生利用業者への処理委託量	3295 t	再生利用業者への処理委託量	3295 t
認定回収業者の処理委託量	0 t	認定回収業者の処理委託量	0 t	認定回収業者の処理委託量	0 t
認定回収業者以外の熱回収を行う業	0 t	認定回収業者以外の熱回収を行う業	0 t	認定回収業者以外の熱回収を行う業	0 t
①現状					

(これまでに実施した取組)  
 再利用を増やした

【目標】 7000 t		②計画		②計画		②計画		②計画		②計画	
産廃廃棄物の種類	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量
全処理委託量	7000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
優良委託処理業者への処理委託量	4000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	3000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量の熱回収を行う量の割合	0 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) 今期、生産量が増えると思われる。総量7000t 砂をラインに戻し発生量を減らす 溶融材、セメントにリサイクルの検討											
※事務処理欄											